

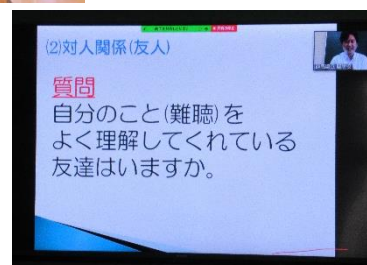
聾学校地域支援だより



サマースクール2021開催



1学期が終わり、夏休みに入りました。毎日暑いですが、みんな元気に過ごしていますか。
親の会では、7月27日、聾学校小学部の森田貴之先生をお迎えし、オンラインで講演をしていただきました。難聴のある先生が、大変苦勞しながら教員になり、夢をかなえたお話しを伺うことができました。



最初に、先生は「僕の聴力は右が～」と自分の聴力を堂々と話しました。

次に、「今でも覚えていること」として、4つのことを話してくださいました。

- ①国語の丸読みが大変だったこと。
- ②「わかった人は手を上げないで」といういつもと違う発問に気づかず、恥ずかしい思いをしたこと。
- ③英語のリスニングに大変苦勞したこと。
- ④プール学習で、指示が聞こえず、違う泳ぎ方をして大変怒られたこと。

など大変ご苦勞された話を聞きました。きっと通級や教育相談に通う皆さんにも当てはまることがあるのではないのでしょうか。

そして、小中高では難聴がコンプレックスだったが、当時は配慮を受けずに生活を送っていた。予習復習を徹底して毎日行い、勉強をたくさんしたが、毎日本当に苦しかった。難聴のことは、自分からは言わずにいた。友達はあるが、難聴のことまで話せなかったとお話ししてくださいました。

さらに、大学に入り、情報保障を紹介され、大学では配慮を受けるようになった。大学で初めて「授業に参加している。」という感覚を持てるようになり、勉強が楽しくなった。周りの人に障害を理解してもらい、自分でできる努力を続けていくことで、自分らしさを出すことができるようになった。その結果、難聴をポジティブに考えられるようにもなった。教員になってからは、職場で電話対応をお願いしたり、情報保障を受けたりしていると現在の仕事での配慮についても話してくださいました。

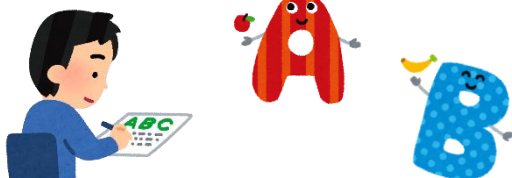
最後に、①「自分のことを相手にしっかり伝えること。(障害名、聴力、配慮してほしいこと等)」②「困っていること、配慮してほしいことを具体的に言うこと」が大事と先生は言います。相手に伝えるためには、「自分のことを知るべき」ときっぱり話されました。

みなさんは、自分のことをどう相手に話しますか？

サマースクール Q&A

【質問1】 大学受験までに
英検何級をとりましたか？

A. 英検は、受けていません。
そのため、持っていませんでした。



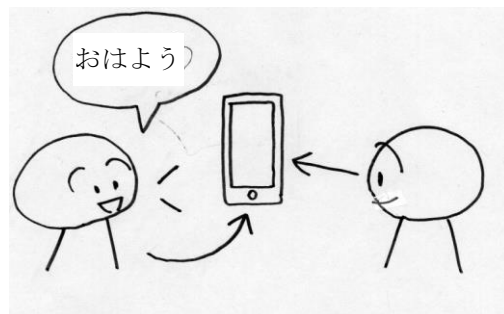
【質問2】 障害を認識し始めたのは、
いつ頃ですか？

A. 5、6年生の頃から、給食等で周り
と違うことを意識するようになりました。
それから、性格が少し変わったように思いま
す。

知っていますか？

—UDトーク—

UDトークとは、コミュニケーションを支援してくれる
アプリです。



1：音声を文字情報に変換

音声を認識し、文字情報に変換して表示されます。

2：入力方法

音声入力だけでなく、キーボードや手書きで入力することもできます。

3：読み仮名表示

漢字に読み仮名を表示することができます。

4：学年対応の漢字の設定

学年ごとに漢字のレベルを設定できます。

5：多言語翻訳

自動で翻訳してくれます。そのため、学習ツールにもなります。

コロナウイルス感染症対策により、ご希望通りの対応が難しくなっ
ています。急ぎの場合は、お電話やオンラインで対応させていただきます。
よろしくお願いいたします。

群馬県立聾学校 027-223-3233

